

も							も																																																																					
散布時期	適用病害虫	薬剤名 (水100ℓ当薬量)	10a 当り 散布薬量	使用時期・回数 も も	注 意 事 項																																																																							
3月中旬 (発芽前) (月 日)	カイガラムシ類 ハダニ類 縮葉病	水 (98ℓ)	350ℓ SSIは 300ℓ以上	発芽前 7日前・5回 14日前・3回	1. 縮葉病は発芽後の散布は効果が劣るので発芽前に必ず散布する。 2. カイガラムシの発生が多くなっているので、アプロードフロアブルを加用する。 3. 前年せん孔細菌病の発生が多かった園では、伝染源となる春型枝病斑の早期発見、せん除を徹底する。																																																																							
		スプレーオイル 50倍 (2ℓ)																																																																										
		チオノックフロアブル 500倍 (200cc) アプロードフロアブル 1,000倍 (100cc)																																																																										
開花前 (月 日)	縮葉病 せん孔細菌病 葉面散布材	展着剤	350ℓ SSIは 300ℓ以上	開花前・3回	1. 前年炭そ病、せん孔細菌病の発生の多かった園です。 ●ニューライパー花実技は強力アミノ酸液で、特にプロリンを多く含む花の栄養材です。500倍を散布します。																																																																							
		銅シン水水和剤 500倍 (200g)																																																																										
		ニューライパー花実技 500倍 (200cc)																																																																										
5月上旬 (落花直後) (月 日)	灰星病 黒星病 ハマキムシ類、コスカシバ	展着剤	300ℓ SSIは 250ℓ以上	前日・3回 21日前・5回 前日・2回	1. モモハモグリガ、アブラムシの発生が多い園では、アルバリン顆粒水溶剤2000倍 (50g) を散布する。 2. 近年うどんこ病の発生が見られるようになっており、発生があった場合はコナケシ顆粒水水和剤4,000倍 (25g) を単剤散布する。																																																																							
		スコア顆粒水水和剤 2,000倍 (50g) マイコシールド 2,000倍 (50g) フェニックスフロアブル 4,000倍 (25cc)																																																																										
		ニューライパー花実技 500倍 (200cc)																																																																										
5月中旬 (月 日)	せん孔細菌病 縮灰星病 アブラムシ類 モシモンクイムシ類	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	21日前・3回 60日前・2回 前日・3回	1. アクタラ顆粒水溶剤にかえて、モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g) を使用してもよい。																																																																							
		ジマンダイセン水和剤 600倍 (166g) アグレプト水和剤 1,000倍 (100g) アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍 (50g)																																																																										
ウメシロカイガラムシの重点防除	5月下旬 (月 日)	灰星病 ホモブシス腐敗病 黒星病 せん孔細菌病 アブラムシ類 クロコナカイガラムシ類 ハマキムシ類 ナシヒメシンクイ モシモンクイ	400ℓ SSIは 300ℓ以上	7日前・4回 21日前・5回 21日前・3回 14日前・3回	1. カイガラムシが多い園ではアプロードフロアブルを更に加用する。枝幹にも丁寧に散布する。 ●せん孔細菌病に注意 特に風が強い場所や、例年発生が多い場所では、葉や果実に病斑が発生しているかどうかよく確認する。																																																																							
		展着剤 デランフロアブル 600倍 (166cc) マイコシールド 2,000倍 (50g) サイアノックス水和剤 1,000倍 (100g) アプロードフロアブル 1,000倍 (100cc)																																																																										
6月上旬 (月 日)	せん孔細菌病 縮灰星病 アブラムシ類 カメムシ類 モハダニ	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	7日前・5回 21日前・5回 7日前・3回 前日・1回	●せん孔細菌病に注意 特に風が強い場所や、例年発生が多い場所では、葉や果実に病斑が発生しているかどうかよく確認する。																																																																							
		チオノックフロアブル 500倍 (200cc) マイコシールド 2,000倍 (50g) バイスロイドEW 2,000倍 (50cc) ダニコングフロアブル 2,000倍 (50cc)																																																																										
6月中旬～下旬 (袋かけ直後) (月 日)	せん孔細菌病 縮灰星病 アブラムシ類 モシモンクイムシ類 ハマキムシ類	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	前日・3回 前日・2回 7日前・3回	1. 芯折れ(ナシヒメシンクイ)の見られるところでは見つけ次第摘除する。 2. カイガラムシの発生が多い園地ではモメントフロアブル2,000倍 (50cc) を加用し、かけムラの無いよう丁寧に散布する。																																																																							
		フルーツセイバー 1,500倍 (66cc) ヨーバルフロアブル 5,000倍 (20cc) モメントフロアブル 2,000倍 (50cc)																																																																										
7月上旬 (月 日)	灰星病 ホモブシス腐敗病 黒星病 モハダニ	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	前日・3回 前日・2回	1. 早生種、中生種は、今回以降、収穫日数を確認の上、使用時期、回数に注意する。 2. ベルコート水和剤は、缶桃14号に葉害の恐れがあるので、オンリーワンフロアブル2000倍を使用する。																																																																							
		ベルコート水和剤 1,000倍 (100g) テルスターフロアブル 3,000倍 (33cc)																																																																										
灰星病の重点防除	7月中旬 (月 日)	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	前日・3回 前日・3回 7日前・1回	灰星病防除剤の使い方 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>薬 剤 名</th> <th>倍 数</th> <th>使用時期・回数</th> <th>灰星病</th> <th>ホモブシス腐敗病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>オンリーワンフロアブル</td><td>2,000倍</td><td>前日/3</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>スコア顆粒水水和剤</td><td>2,000倍</td><td>前日/3</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>アミスター10フロアブル</td><td>1,000倍</td><td>前日/3</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>ナリアールWDG</td><td>2,000倍</td><td>前日/2</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>ロブラル水和剤</td><td>1,000～1,500倍</td><td>前日/3</td><td>○</td><td>○(1,000倍)</td></tr> <tr><td>ミギワ20フロアブル</td><td>2,000～4,000倍</td><td>前日/3</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>パスワード顆粒水水和剤</td><td>1,000～1,500倍</td><td>前日/2</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>ベルコート水和剤</td><td>1,000～2,000倍</td><td>前日/3</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>ファンタジスタ顆粒水水和剤</td><td>3,000倍</td><td>前日/3</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>スクレアフロアブル</td><td>2,000倍</td><td>前日/3</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>フルーツセイバー</td><td>1,500倍</td><td>前日/3</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>バレード15フロアブル</td><td>2,000倍</td><td>前日/2</td><td>○</td><td></td></tr> </tbody> </table>							薬 剤 名	倍 数	使用時期・回数	灰星病	ホモブシス腐敗病	オンリーワンフロアブル	2,000倍	前日/3	○	○	スコア顆粒水水和剤	2,000倍	前日/3	○		アミスター10フロアブル	1,000倍	前日/3	○	○	ナリアールWDG	2,000倍	前日/2	○	○	ロブラル水和剤	1,000～1,500倍	前日/3	○	○(1,000倍)	ミギワ20フロアブル	2,000～4,000倍	前日/3	○	○	パスワード顆粒水水和剤	1,000～1,500倍	前日/2	○		ベルコート水和剤	1,000～2,000倍	前日/3	○	○	ファンタジスタ顆粒水水和剤	3,000倍	前日/3	○	○	スクレアフロアブル	2,000倍	前日/3	○	○	フルーツセイバー	1,500倍	前日/3	○		バレード15フロアブル	2,000倍	前日/2	○	
		薬 剤 名										倍 数	使用時期・回数	灰星病	ホモブシス腐敗病																																																													
	オンリーワンフロアブル	2,000倍	前日/3	○								○																																																																
スコア顆粒水水和剤	2,000倍	前日/3	○																																																																									
アミスター10フロアブル	1,000倍	前日/3	○	○																																																																								
ナリアールWDG	2,000倍	前日/2	○	○																																																																								
ロブラル水和剤	1,000～1,500倍	前日/3	○	○(1,000倍)																																																																								
ミギワ20フロアブル	2,000～4,000倍	前日/3	○	○																																																																								
パスワード顆粒水水和剤	1,000～1,500倍	前日/2	○																																																																									
ベルコート水和剤	1,000～2,000倍	前日/3	○	○																																																																								
ファンタジスタ顆粒水水和剤	3,000倍	前日/3	○	○																																																																								
スクレアフロアブル	2,000倍	前日/3	○	○																																																																								
フルーツセイバー	1,500倍	前日/3	○																																																																									
バレード15フロアブル	2,000倍	前日/2	○																																																																									
スクレアフロアブル 2,000倍 (50cc) アルバリン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g) カネマイトフロアブル 1,000倍 (100cc)																																																																												
7月下旬 (月 日)	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	前日・3回 前日・3回	1. シンクイ虫の被害が近年多くみられるので、収穫中でも農薬散布の期間をあげないで散布する。(収穫日数を確認する) 2. ウメシロカイガラムシの第2回目の防除適期は8月中旬です。(トランスフォーム2,000倍)																																																																								
ミギワ20フロアブル 4,000倍 (25cc) エクシレルSE 2,500倍 (40cc)																																																																												
8月上旬 (月 日)	灰星病 アブラムシ類 クワコナカイガラムシ類 ハマキムシ類 ナシヒメシンクイ モシモンクイ	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	前日・3回 前日・2回 前日・1回	1. せん孔細菌病の発生が多かった園では、収穫後2週間おきに2回以上散布する。 ● ICボルドー412に変え、以下の薬剤も散布できる。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>ムッシュボルドーDF</td> <td>500倍 (200g)</td> <td>せん孔細菌病</td> <td>縮葉病</td> </tr> <tr> <td>コサイド3000</td> <td>2,000倍 (50g)</td> <td>せん孔細菌病</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※上記の薬剤を散布する際は、アプロン100倍(200g)を加用する。							ムッシュボルドーDF	500倍 (200g)	せん孔細菌病	縮葉病	コサイド3000	2,000倍 (50g)	せん孔細菌病																																																										
		ムッシュボルドーDF										500倍 (200g)	せん孔細菌病	縮葉病																																																														
コサイド3000	2,000倍 (50g)	せん孔細菌病																																																																										
ファンタジスタ顆粒水水和剤 3,000倍 (33g) ディアナWDG 1万倍 (10g) マイトコーネフロアブル 1,000倍 (100cc)																																																																												
収穫前 (月 日)	灰星病 アブラムシ類 ハマキムシ類 ナシヒメシンクイ モシモンクイ	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	前日・2回 前日・3回	1. 収穫後、モモハモグリガの発生が多い傾向にあります。収穫が終わった園地でも防除してください。(早期落葉の原因になります)																																																																							
		パスワード顆粒水水和剤 1,000倍 (100g) アーデントフロアブル 2,000倍 (50cc)																																																																										
収穫後 (9月中旬) (月 日)	モモハモグリガ ウメシロカイガラムシ類 ナシヒメシンクイ モシモンクイ	展着剤	400ℓ SSIは 300ℓ以上	21日前・3回	1. 収穫後、モモハモグリガの発生が多い傾向にあります。収穫が終わった園地でも防除してください。(早期落葉の原因になります)																																																																							
		サイアノックス水和剤 1,000倍 (100g) ニューライパー花実技 500倍 (200cc)																																																																										
せん孔細菌病対策 9月中旬～10月中旬 (月 日)	せん孔細菌病	展着剤	30倍 (3.3kg)	ICボルドー412	1. せん孔細菌病の発生が多かった園では、収穫後2週間おきに2回以上散布する。 ● ICボルドー412に変え、以下の薬剤も散布できる。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>ムッシュボルドーDF</td> <td>500倍 (200g)</td> <td>せん孔細菌病</td> <td>縮葉病</td> </tr> <tr> <td>コサイド3000</td> <td>2,000倍 (50g)</td> <td>せん孔細菌病</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※上記の薬剤を散布する際は、アプロン100倍(200g)を加用する。							ムッシュボルドーDF	500倍 (200g)	せん孔細菌病	縮葉病	コサイド3000	2,000倍 (50g)	せん孔細菌病																																																										
		ムッシュボルドーDF										500倍 (200g)	せん孔細菌病	縮葉病																																																														
コサイド3000	2,000倍 (50g)	せん孔細菌病																																																																										
コスカシバ																																																																												
コスカシバ対策 10月中・下旬 (月 日)	コスカシバ	展着剤	200倍 (500cc)	収穫後～発芽前 (幼虫食入期)/1回	1. 枝幹に散布する。 2. 捕殺する。																																																																							
		トラサイドA乳剤																																																																										

注意事項 農薬の使用にあたっては必ず商品ラベルの表示を確認し、ラベル記載どおりに使用して下さい。

ももの生態調査

(山形県農業総合研究センター園芸試験場調査)

品 種	発 芽 期			展 葉 期			開 花 期									収 穫 盛 期			備 考
	6年	5年	平年	6年	5年	平年	開 花 始 期			満 開 期			落 花 期			6年	5年	平年	
あかつき	3/16	3/16	3/19	4/11	4/4	4/14	4/11	4/10	4/18	4/15	4/16	4/22	4/22	4/24	5/1	7/29	8/2	8/5	R4より調査樹 変更
川中島白桃	3/16	3/16	3/19	4/11	4/7	4/15	4/11	4/10	4/19	4/15	4/17	4/23	4/25	4/28	5/2	8/26	8/28	8/29	